



# 小羽山

R4. 9. 26  
小羽山小学校だより  
第605号



小羽山小HP



## 実りの秋 〇〇の秋

台風一過、空気が澄んで秋らしい爽やかな季節になりました。

秋と言えば「スポーツの秋」「芸術の秋」「食欲の秋」「読書の秋」・・・と何をするにも過ぎしやすい、よい季節です。本校では、秋の恒例行事として図書委員会を中心に「ビブリオバトル」を行います。自分のおすすめの本を紹介するのですが、どれだけ人がその本を手に取りたくなるか勝負するのです。本の魅力を伝えるだけでなく、自分の感想や感動も伝えなければ人の心を動かすことはできません。自分の思いを表現するよい機会となります。

『読書』のよさは、本を読むうちにその中に出てくる言葉が自分の思いと重なり、言葉が自分のものになるところです。人間は言葉で物事を考えるので、言葉が豊かになればなるほど考えや思いも豊かになっていきます。ぜひ、大人も子どもも秋は『読書』で素敵な言葉やお話、知識の世界を旅しませんか？

ところで、裏面学校評価アンケートの結果にも表れているように、『読書』への興味や習慣づけが本校の課題です。学校のチャレンジ目標にもしていますが、『読書』がゲームなどのメディアに負けないくらい子どもたちの「たのしみ」になってほしいと思います。

最後に、「メディアコントロール」についても同時に子どもたちや保護者の皆様にも意識していただきたいので、10月14日（金）の参観日には「メディア」に関わる講演会も予定しております。

ぜひ、ご参加ください。

### 10月の主な学校行事等

1	土	すくすく（手芸教室）	17	月	代表委員会
2	日		18	火	6年修学旅行
3	月	委員会活動⑥	19	水	6年修学旅行 1年社会見学 すくすく
4	火		20	木	SC 来校(PM), 6年午前中授業（給食有り）
5	水	オーケストラ鑑賞会（なかよし・つばさ・たんぽぽ） すくすく	21	金	学力定着状況確認問題（6年）
6	木	お話の会(4-2)	22	土	
7	金		23	日	すくすく（ダンス教室）
8	土		24	月	クラブ（写真撮影）
9	日		25	火	2年社会見学
10	月	スポーツの日	26	水	学力定着状況確認問題（5年） すくすく
11	火	教育実習（～11/4） 3年社会見学	27	木	お話の会(5-1)
12	水	すくすく	28	金	ボッチャ大会（なかよし・つばさ・たんぽぽ）
13	木		29	土	
14	金	参観日，学校保健安全委員会	30	日	
15	土		31	月	
16	日				



# 小羽山小学校の教育活動に関するアンケート(前期)結果について

7月に実施しました学校評価アンケートではご協力をいただきありがとうございました。

集計結果の分析・考察を以下にお示しします。

なお、集計結果(児童・保護者)や保護者の皆様からいただいた自由記述の詳細はホームページに掲載しておりますので、そちらも併せてご覧ください。

【学校評価アンケート(前期) - 宇部市立小羽山小学校】

[http://www3.ube-ygc.ed.jp/oye/cat1401/post\\_31.html](http://www3.ube-ygc.ed.jp/oye/cat1401/post_31.html)



## 【児童アンケート結果より】

設問3「友達や様々な人と一緒に学ぶことは楽しい」、9「楽しく学校に通っている」を見ると、「あてはまる(よくあてはまる+だいたいあてはまる)」が高評価となっています。このことから、学校で楽しく過ごせている児童が多いことが本校の良さといえるでしょう。実際に、学校で過ごすことに前向きな児童が多く、外で元気に遊んだり学習にやる気をもって取り組んだりしている様子が普段からよく見られます。

課題として考えていかななくてはならないのは、設問4「進んで宿題や自主学習に取り組んでいる」、5「本をよく読んでいる」、11「仕事や手伝いを進んでやっている」を見ると、「あてはまる」が80%を下回っていることです。学習意欲をさらに高めていくために、学び方の基礎を徹底したり、一人1台端末を授業では協働学習や調べ学習に、そして、家庭では習熟度に応じたドリル学習による家庭学習の習慣付けにも活用したりしていきます。読書や手伝いについても、全校的な取組を展開し家庭への周知を図ったり、読書や手伝いの意義や必要性について情報提供をしたりするなど、学校と家庭が連携して取り組んでいきたいと思えます。

## 【保護者アンケート結果より】

「あてはまる」が80%を上回っている設問を見ると、3「人とかわりながら学ぶことを楽しいと感じている」、7「学校のきまりを守って生活している」、9「楽しく学校に通っている」、15「学校は便りやホームページ、メールなどで情報を分かりやすく伝えている」が挙げられます。このことは、子どもが友達と一緒に学んだり遊んだりすることの価値や意義を学校と保護者と共有できていることが背景にあると考えます。今後も学校の取組や子どもたちの様子について情報発信をしながら、地域とともにある学校づくりを進めていきたいと思えます。

一方、設問11「健康に関心をもって生活している(体力向上、生活習慣など)」や6「メディアとの関わり方や読書など、家庭のルールを守っている」において、「あてはまる(よくあてはまる+だいたいあてはまる)」が60%前後と保護者の皆様の心配がうかがえます。一人1台端末などのICTの活用を進める一方で、使い方のルールや体力向上の面も疎かにはできません。1学期に取り組んだ「メディア・コントロール週間」を今後も継続して取り組むとともに、学校生活や家庭の両面で外遊びを通じて体力向上の機会を確保する方法を考えていきたいと思えます。

子どものよりよい育ちを支えていくためには、学校・家庭・地域の連携・協働が欠かせません。今後とも本校教育にご協力をいただきますよう、お願いいたします。

## 【保護者アンケート自由記述について(一部)】 ※ ○…家庭からのご意見 ◆…学校としての考え方

○ 児童の登下校時、見守り隊の方々の姿に、すごくありがたいと思う反面、見守り隊の方が居る場所の偏りがあるように感じる。もっと、先生方や保護者を当番制にし、全員が全児童を守ろうとする行動を取るべきだと思う。

◆ 「小羽山っ子見守り隊」への加入を今後も呼びかけていく他、「ながら見守り(児童の登下校の時間帯に自宅前に立つなど可能な範囲で児童の安全を見守る)」を啓発していきます。

○ 熱中症予防とはいえ、子どもが昼休みに外で遊べない日が多い。何とか運動できる方法を探っていただきたい。

◆ 国から発出される熱中症に関する指針などを踏まえたうえで、時間を区切って遊ばせたり、途中で飲水タイムを設けたりするなど、児童の運動する機会を探っていきます。

○ 運動会を開催してほしい。

◆ コロナ感染状況やコロナ感染予防に関するガイドラインを見ながら、子どもにとっても達成感の大きい行事となるよう開催方法を工夫していきます。